
ワタシイクユクエミライ

hisetosi

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ワタシイクユクエミライ

【Nコード】

N3777BA

【作者名】

hisetossi

【あらすじ】

「キミライマタイツカ」の第2弾。

残された人の目線で。

みなさんに失ってしまったものがありますか？

自分の為に何かを失い。相手の為に何かを壊す。

でもその時「失ったもの」は覚えているものだと思います。

もし、忘れてしまったならどうでも良かった物だったのでしょうか？

私には答えは出ません。

なにかが足りない。

そう感じたのです。

でも、何が？

わからない。ワカラナイ。分からない。

なにかが足りない。

大事なものが。

なにかを私は失った・・・？

わからないならどうでもいいことだったかもしれない。

でも・・・何か違和感。

なにかが消えてしまったような。

なにかを失ってしまったような。

なにかを忘れてしまったような。

大切ななにか。

たしかにあったはずの隣からのぬくもり。

たしかにあったはずのドキドキ。

たしかにいたはずの誰か・・・？

でも、誰？

大好きだった。大好きだった。大好きだった。

幸せだった。本当に。すごくすごく。

大切だった。大事だった。

辛いことも、苦しいことも、泣きたくなることもあったけど

忘れてしまった誰かがいたから大丈夫だった。

忘れてしまったキミとの未来を考えていたから平気だった。

なのに・・・なのに・・・なんで消えてしまったの？

なんで忘れちゃったの？

キミがいなくなってから私の世界は止まったまま。

キミと出会えて幸せになれたのに。

未来がキラキラ光って来たのに。

なんでいないの？

なんで消えたの？

なんで忘れてしまったの？

顔も名前もなにもわからない。

世界が私をおいて回り始める。

私が1人取り残されて。

キミのことを考える。

もう、忘れてしまわぬように。

顔も思い出も名前も何も分からない。

本当に居たかどうかさえ。

でも、私は信じる。

世界がたとえ私をおいて回っても。

世界がキミを亡くしたとしても。

私は覚えているよ。

確かに合ったぬくもりを。

世界が未来へ進んでく。

過去には戻れない。

だから私は未来だけを見て。

私をおいていった世界にまた飛びのって。

確かにあったぬくもりと未来につながる笑顔をつれて。

キミを忘れず未来で笑おう。

これが私の光る未来。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3777ba/>

ワタシイクユクエミライ

2012年1月9日21時53分発行